

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2023年7月28日
明治大学の所属学部・研究科	情報コミュニケーション学部／情報コミュニケーション学科(学部/ 学科/ 研究科/ 専攻等)
留学(渡航)した時の学年	2年生
帰国年月日	2023年6月28日
明治大学卒業予定年月	2025年3月
留学先大学について	
留学先国	大韓民国
留学先大学	漢陽大学(日本語名) 한양대학교(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	韓国語/韓国語・英語
留学期間	2023年2月～2023年6月
留学先大学で在籍した学年	3年生
留学先の所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名(日本語):政治外交学科 (現地言語での名称):정치외교학과 <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input checked="" type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 記入例:1学期/4月上旬～7月下旬、 2学期/9月中旬～2月上旬	1学期:3月上旬～6月下旬 2学期:9月上旬～12月下旬 3学期: ~ 4学期: ~
学生数	約37000人
創立年	1939年

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (ウォン)	日本円	備考
授業料	1,800,000	180,000 円	有料講座を受講したため
宿舍費	5,000,000	500,000 円	光熱費を含む
食費	1,500,000	150,000 円	
図書費	100,000	10,000 円	教科書代
学用品費		円	
携帯・インターネット費	150,000	15,000 円	現地で sim を購入
現地交通費	300,000	30,000 円	(<input type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	500,000	50,000 円	現地での旅行費を含む
被服費	200,000	20,000 円	
医療費		円	
保険費	500,000	50,000 円	形態: 明治大学指定の海外旅行保険
渡航旅費	800,000	80,000 円	
ビザ申請費		円	
雑費	200,000	20,000 円	
その他		円	
その他		円	
合計	11,050,000	1,105,000 円	

渡航関連	
渡航経路	
往路 出発地: 成田空港 目的地: 仁川空港 経由地:	
復路 出発地: 仁川空港 目的地: 成田空港 経由地:	
渡航費用	
① 往復チケットを購入した場合 航空会社: 料金:	
② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社: 大韓航空 料金: 37,000 円 復路 航空会社: アシアナ航空 料金: 46,000 円 ∴ 合計: 83,000 円	
航空券購入方法	
<input checked="" type="checkbox"/> 旅行代理店(店名: HIS)	
<input type="checkbox"/> インターネット(サイト名:)	
<input type="checkbox"/> その他()	

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

 学生寮(寮の名前:) アパート ホームステイ

2)部屋の形態

 個室 相部屋(同居人数)

3)共有部分

 バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

4)住居を探した方法:

渡航前に不動産会社と連絡をとり、いくつかの物件を紹介してもらったうえで仮契約した。

5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

私が渡航した時期は漢陽大学の学生寮が交換留学生に対して開かれていなかったため、個人で住居を探す必要があった。学期の始まる時期には物件の流動が激しく、部屋がすぐに埋まってしまうため注意が必要。

現地情報

1)留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院、学内の診療所)

 なし
 あり(治療を受けた場所:)2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例:留学先大学の相談窓口、現地の友人等) なし
 あり(問題の内容や相談した人等:)

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

韓国は監視カメラが至る所に設置されているため、盗難についてそれほど心配する必要はない。部屋が暗証番号式の玄関であったため、暗証番号を定期的に変更するようにしていた。

4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

インターネットに関して不便を感じることはなかった。カフェ、学校、地下鉄などの公共交通機関にはフリーWIFI が通っており接続が可能である。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

日本で発行した海外ブランドのクレジットカードを複数枚持参していった。キャッシュレス化が進んでいるため、現金を使うシーンはT-money カードにチャージをする際などごくまれであった。外国人登録証が発行されたあとは大学内の銀行で口座を開設し、チェックカード(キャッシュカードとデビットカードの機能を備えたもの)を発行した。

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

変換プラグ、日本の健康保険証など。服用している常備薬がある場合は持っていくと良い。

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
16 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Korean Language Course	韓国語クラス
科目設置学部・研究科	国際教育院
履修期間	1 学期間
単位数	13
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	少人数形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 200 分が5回
担当教授	キム・セギョン/ムン・ソナ
授業内容	外国人留学生を対象とした体系的な韓国語集中課程。スピーキング、リスニング、リーディング、ライティング4技能の総合教育で韓国語で開講される。一般的な社会的・抽象的テーマについて理解し、表現する能力を身につける。
試験・課題など	【課題】 別冊ワークブックを授業の進度に合わせて各々進めておく。 【中間試験・期末試験】 中間、期末とも4技能の試験が課される。そのほかにも、授業内で一度行われるグループごとのプレゼンテーションも採点対象となる。
感想を自由記入	少人数制であるため、発言の機会を多く得られる。漢陽大学では、2023 年春学期から韓国語クラスが交換留学プログラムに含まれなくなった。受講希望者は別途申請と授業料負担の必要があるので注意が必要。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Global Media and Communication	グローバルメディアとコミュニケーション
科目設置学部・研究科	社会科学部・メディアコミュニケーション学科
履修期間	1 学期間
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	聴講形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が2回
担当教授	キム・スチョル
授業内容	デジタルメディアの文脈におけるグローバルメディアとコミュニケーションに関する最近の研究について学習する。大衆文化、産業、文化政治など、世界のメディアとコミュニケーションの関係について多角的な視点から理解する。
試験・課題など	【課題】 指定されたテーマに関する小レポートを4回提出する。 【期末試験】 授業最終回に期末試験を行う。
感想を自由記入	英語開講科目であったが韓国人の学生が多く参加していた。英語圏の留学生は自国のデジタルメディア事情を積極的に発言しており、刺激になった。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

2)進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など

3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)
※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)
※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	
留学開始年	1月～3月	TOPIK 受験
	4月～7月	
	8月～9月	明治大学内選考
	10月～12月	漢陽大学出願、ビザ申請
留学/帰国年	1月～3月	滞在先の確保、ビザ取得、渡航、外国人登録申請(3月)
	4月～7月	外国人登録証発行(5月)、帰国
	8月～9月	
	10月～12月	

留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイスなど、自由に記入してください。

私はもともと学生のうちにどうしても海外で暮らしてみたいという夢があったので、入学時から漠然と留学に対する意識を持っていました。中学生の頃アメリカに10日間ほど語学研修に行きましたが、その当時カルチャーショックを非常に強く受けた経験から、文化の面で日本と類似点が多く、食事も口に合う韓国を留学先に選びました。Kpop や韓流ドラマに関心があったことも大きな決め手になりました。韓国は人口が首都に極端に集中している国なので、中心地ソウルに位置した大学を候補に選びました。漢陽大学は韓国のSKYに続く優秀な大学であり、現地のレベルの高い学生と友達になることができます。

授業では英語開講科目や外国人留学生専用の科目を履修していたため、想定していたよりも周囲に韓国人の学生があまりいませんでした。私は韓国語を使う機会を増やしたかったので、漢陽大学のHOWという留学生サークルのようなものに積極的に参加しました。HOW以外にもいくつか現地の学生との交流を手助けしてくるサークルや所属学部からのサポートがあったので、漢陽大学の留学を検討している方は参考にしてください。

留学していて感じたことは、自分の行動次第で活動の幅はいくらでも広がるということです。初めの頃は授業を受けるのに精一杯でしたが、机上の勉強ではなく遊ぶことで学べることも沢山あります。授業や課題、そのほかにも手続きなどで忙しいと思いますが課外活動にも積極的に参加してみてください。

余談かもしれませんが、留学中に一度玄関のロックが作動しなくなり家に入れなくなるということが起こりました。すぐ警備室に相談に行きましたが、警備会社と事務室の業務が連携しておらず、翌日オーナーさんが出勤してから対応してもらえと言われ、助けてもらえませんでした。韓国では日本と比べて、役所の受付の人からコンビニの店員さんまでどこでも素っ気なく対応されるので少しメンタル削られます…。その日は大学内の24時間開館している図書館に泊まりました。後からわかったことですが玄関は故障ではなく充電切れだったみたいです。韓国の玄関は暗証番号式で鍵がないのでこのようなトラブルが起こるかもしれません。

留学を準備する過程のなかで不安なことも沢山あると思います。私自身、出発日が近づくにつれて寝れないこともありましたが、不安を抱えて当然だと思います。しかし実際こうして留学を終えてみると、挑戦してみて本当に良かったです。今いるコミュニティから離れ、海外で一から生活拠点と人間関係をつくり、さらに外から日本を再考するということは留学ならではの貴重な経験だと思います。皆さんの留学も有意義な時間となりますように応援しています！